

山花温泉リフレ

Yamahana Onsen Refre
(北海道釧路市)



外観

今回紹介するのは釧路市にある山花温泉リフレ（釧路市農村都市交流センター）である。釧路市が所有する温泉宿泊施設で、日帰り入浴も可能な施設だ。館内には釧路型薬膳料理が楽しめるレストランがあり、周辺には動物園、ホースパーク、オートキャンプ場などがある。

温泉は館内1階左手奥だ。脱衣室前には貴重品ロッカーがある。100円が必要だが、使用後は戻ってくる。脱衣室前のロビーは広く、たくさんの自動販売機があり、奥には軽食処、休憩用の広大な座敷がある。

脱衣室にはロッカーが48個、籠が48個、洗面台が4個あり、無料で使えるドライヤーもある。ロッカーは100円が必要だが、使用後は戻ってくる。

浴室は広い。かぶり湯、大風呂（湯温42℃と表示され、熱め）、ジャグジー（湯温41℃と表示）、ジェット風呂（4人分、湯温40℃と表示）、薬湯（本日はローズ湯、湯温はぬるめ）、水風呂、打たせ湯（2人分）がある。人気はジャグジーのようだが、私のお気に入りには薬湯だ。ほのかな香りがいい。

洗い場は29か所もある。カランは自閉式サーモスタット混合栓。シャンプー、ボディソープの他、固形石鹸、軽石も具備。洗面器は珍しく四角形。使い勝手はともかく、洗面器を洗うのは少々面倒なのではないか。四隅にたまった汚れは除去しにくいであろうに。

サウナはウェットサウナ。定員は10人ほど。ウェットサウナにしては高温なのが特徴だ。メガネが曇ってしまって何も見えなかったが、蒸気は椅子の下から出ているようである。

最上の空間は露天風呂だ。取材日は外の気温が 10℃程度。8 月にしては異常に低い。釧路の夏は日本で一番涼しいと言われるが、これほどだったとは。露天風呂の湯は少々濁っており、適温。長時間粘ろうと思っていたが、今日はすぐにのぼせてしまった。

ちなみに山花温泉リフレの湯はナトリウム-塩化物強塩温泉（中性高張性温泉）で、神経痛、筋肉痛、関節痛、関節のこわばり、五十肩、運動麻痺、うちみ、くじき、冷え症、痔疾、慢性消化器病、疲労回復、健康増進、病後回復期、虚弱児童、慢性皮膚病、慢性婦人病、きりきず、やけどなどに効くという。

尚、風呂は毎日男女が入れ替わるため、宿泊すれば夜と朝は別の風呂を楽しむことができる。上記で紹介したのは「花の湯」であるが、「山の湯」はウェットサウナがドライサウナに変わる。

お土産はホテルのフロント前で購入できる。おすすめはドライフルーツ。珍しい桃のドライフルーツが売られている。また、レストランでは薬膳料理が楽しめる。薬膳と聞くと敷居が高いように思えるが、山花温泉リフレの説明によれば、季節と体調を考えて食材を選ぶ。それが薬膳料理なのだという。低温の夏、温泉、薬膳料理、あらゆるものを楽しんだ釧路であった。

- **名称**：山花温泉リフレ
- **所在地**：北海道釧路市山花 14 線 131 番
- **電話**：0154-56-2233
- **営業時間**：日帰り入浴は 10:00~22:00(最終受付 21:30、7 月 1 日~9 月 30 日は左記より 1 時間延長)、宿泊客はチェックイン~23:30、24:00~翌朝 8:00 (サウナは 22:00 まで)
- **入浴料**：日帰り入浴は大人 620 円、中学生 520 円、小学生 310 円、未就学児無料、宿泊客は無料
- **サウナ**：あり
- **サウナ内のテレビ**：なし
- **取材日**：2015 年 8 月 28 日 (金)、29 日 (土)
- **取材**：銭湯愛好会・東京支部部